

令和4年度

学校推薦型選抜(後期指定校)

小論文問題

(時間 60分)

受験上の注意事項

- 【1】この問題冊子は、監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 【2】問題冊子の印刷が不鮮明な場合は、申し出てください。
- 【3】机には監督者から指示のあるもの以外は、置いてはいけません。
- 【4】試験終了後は、小論文解答用紙を裏にして通路側に置いてください。
- 【5】試験終了後、解答用紙の回収作業が終了し、指示があるまで退室できません。
- 【6】この問題冊子と下書き用紙は、各自持ち帰ってください。

令和4年度
学校推薦型選抜（後期指定校）
小論文問題
（時間 60分）

下の新聞記事を読み、「拡大するネット広告市場と巨大IT企業」について300字以上600字以内で論じなさい。その際、次の①、②、③のプロセスに従って論を展開しなさい。

- ① ネット広告とはどのようなものか、また日本国内の広告市場におけるネット広告の規模はどのくらいか。
- ② 公正取引委員会がまとめた報告書の中で述べられている、巨大IT企業による「優越的地位の乱用」とはどのようなものか。企業、消費者それぞれについて述べなさい。
- ③ 上記①、②を踏まえて、「拡大するネット広告市場と巨大IT企業」について、貴方の意見を述べなさい。

なお、誤字・脱字、常用漢字不使用、そして著しい字数不足は減点の対象となるので注意しなさい。

「強い立場乱用」歯止め

市場成長 グーグルが圧倒

公正取引委員会がインターネット広告に関する最終報告書をまとめ、独禁法違反の恐れがある行為について見解を示した。米グーグルをはじめとする巨大IT企業は、成長を続けるネット広告市場で圧倒的な影響力を持つ。広告主や消費者との関係が「優越的地位の乱用」に当たりかねない現状に歯止めをかける狙いがある。取引の実態や問題事例を整理した。

国内規模 2兆円

巨大ITは広告主と掲載メディアをつなぐ「プラットフォーム」の役回りを担っている。広告主から掲載依頼を受け、自社サイトを通じて消費者に直接広告を配信。他にも、新聞などのサイト運営事業者から広告枠を買い取ったり、仲介事業者と代理販売契約を結んだり、あらゆる取引に絡んでくる存在だ。

スマートフォンの普及などに伴い、ネット広告は急成長。国内の市場規模は2019年に2兆円を超え、5年間で2倍に膨らんだ。既にテレビやラジオを含む総広告費の3割を占めている。

フェイスブックやヤフーなど一握りの巨大ITがシェアを占め、とりわけ検索結果と連動して表示される広告分野ではグーグルのシェアが70～80%と独占的な状況だ。ある広告代理店は「ネット広告の取引先はほぼ全て巨大ITだ」と語る。

広告主やサイト運営事業者はこうした力関係を背景に、不本意な取引でも従わざるを得ないことが多い。公取委の調査では25～75%の事業者が「(巨大ITが) 事前の通知なく契約を解除できる」(仲介事業者) など、問題のある規定が契約に含まれると答えた。公取委は、巨大ITが契約内容を一方的に変更したり、他社との取引を制限したりするのは独禁法が禁じる行為に該当する可能性があるとして警告する。

選定基準不明確

ヤフーなどのサイトに記事を提供するマスメディアとの関係も不透明さが指摘される。記事の閲覧数に応じてメディア側に広告収入の一部が支払われる契約があるが「(閲覧数が伸びる) サイト上位に取り上げられる選定基準が不明確」と不満の声が漏れる。

消費者は、検索や会員制交流サイト(SNS)といった巨大ITのサービスを利用する「対価」として自分の個人情報を提供している。情報の種類は、SNSなどのアカウント開設時に入力する名前や生年月日にとどまらず、検索や購入の履歴、交友関係など多岐にわたる。公取委の調査では「どんな情報が広告目的に収集されているのか認識していない」という利用者が約40%に上った。

公取委は、利用目的の説明が曖昧なまま個人情報を収集した場合は独禁法違反の恐れがあると指摘。個人の興味に狙いを絞って表示する「ターゲティング広告」での情報利用を本人が拒否したにもかかわらず広告配信で使い続けるケースについても、違法の可能性があると認識を示した。(2021/02/18 中国新聞朝刊 7ページ)

【用語の解説】

- ・公正取引委員会(公取委)：市場の正しい競争を守るためのルール「独占禁止法(独禁法)」に基づいて、ルール違反をしている会社やお店がないか監視している国の機関。違反の疑いがある会社などを調査や取り調べをし、違反が見つかった場合には、違反をやめさせたり、違反をした分のお金を返させたりする命令をする仕事をしている。
- ・プラットフォーム：プラットフォームの英語の意味は土台、基盤であり、IT分野ではシステムやソフトウェアを動かすための必要な基盤となる共通の動作環境を指す。プラットフォームとは、そのプラットフォームを提供する企業のこと、検索のグーグルやヤフー、SNSのフェイスブック、ECのアマゾンなどがある。